

平成28年度 第4回関東甲信越地区セミナー 「周術期における全身管理」アンケート集計結果

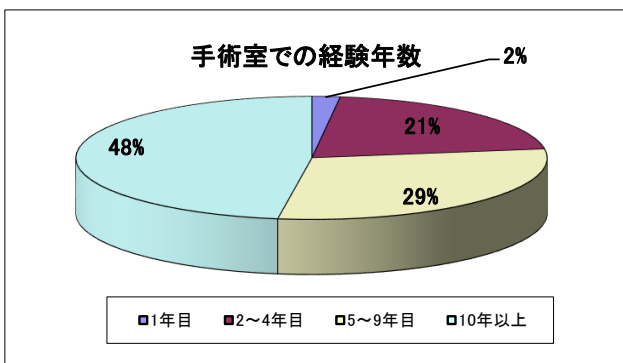
日時:平成28年12月3日(土)

場所:全社協 灘尾ホール

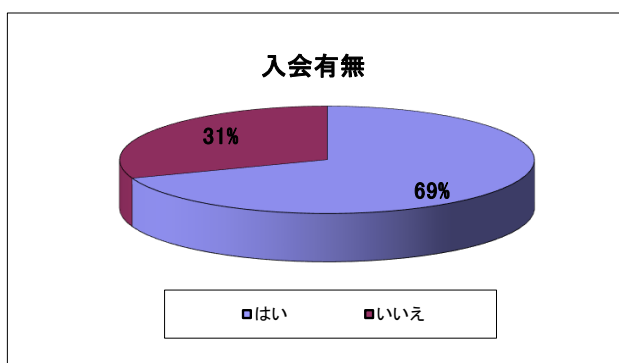
参加者:288名(会員:192名、非会員:96名)

アンケート回収数・率:260枚/90.3%

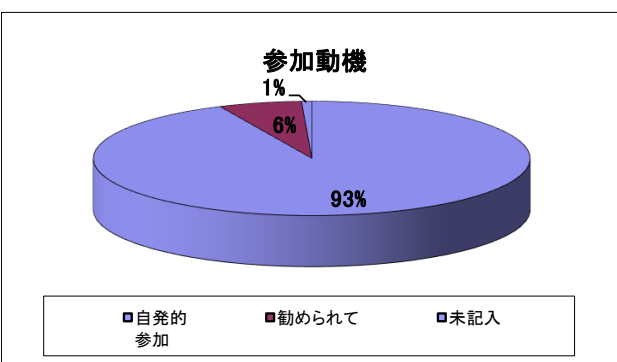
1. 手術室での経験年数



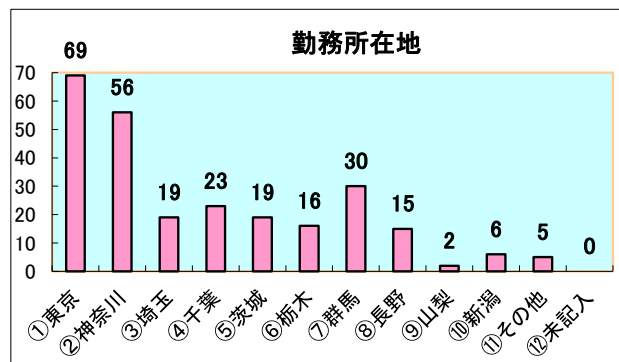
2. 日本手術看護学会入会の有無



3. 当セミナーへの参加動機について



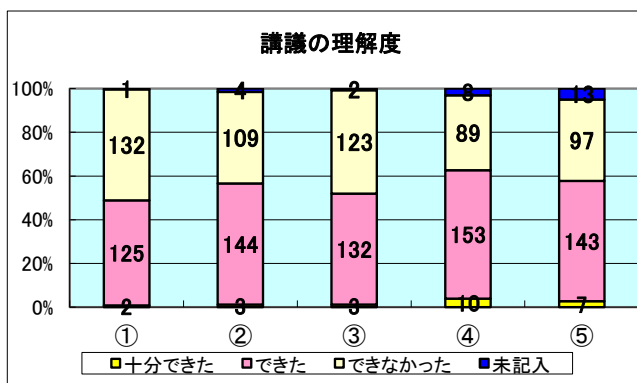
4. 勤務先所在地



5. 講義内容の理解について

理解出来ない～十分理解できたの3段階での回答

- ①“大量出血の対処法”について
- ②“周術期の抗血栓療法”について
- ③“鎮静薬と術後鎮痛法”について
- ④“合併症と麻酔”について
- ⑤“緊急事態への対応”について



6. 今回の研修内容は満足できましたか。

満足: 168人(64.6%) 不満足: 4人(1.5%) 未記入82人 両方に記入6人

満足

- ・医学的な視点から学ぶことが多く、知らない知識やすぐに使えそうな知識も知れたため参加できてよかった。
- ・輸血や挿管困難の対応などタイムリーな対策を知ることができました。
- ・知識のブラッシュアップに有効であった。また、血圧も血糖も高いより低い方が危険、DMは血糖が高いことが問題ではなく血糖が上手に使用できないことが問題であるなど、発想を改たにすることが出来た。
- ・全身麻酔下、脊髄くも膜下麻酔時でも合併症については少し不安があったり、どうしたらよいのだろうかと思慮事も多かったため、今回の研修で明確になり、今後の現場で活かしていきたいと思いました。
- ・輸血ではHbの補正にどのくらい赤血球が必要となるのか理解できた。鎮痛薬の種類や効果など特徴がとてもわかりやすく説明してもらいとても良かった。合併症と麻酔の講義では先生の経験もまじえながらポイントを説明してもらったのでとてもわかりやすかった。
- ・Allen test 知れて良かった。
- ・鎮痛薬の各種の使い分け、拮抗してしまうもの、受容体に関連するもの、日頃使用している薬剤ですが、「今さら聞けない」または理解が不十分で疑問感じていたことがクリアできよかった。
- ・出血時の対処法はフローチャートを確認しながら行動することは一般的であったが、血液製剤の使用は一つ一つ製剤の必要性を理解しながら行う。患者の状態を数値で評価しながらの視点はとても大事だと感じた。(視野、知識が広がった)麻酔Drと同じような視点で判断できるように努力する必要があると感じた。糖尿病、高血圧、喘息、悪性高熱と症状と薬剤使用の関わりが理解しやすかった。気道確保、挿管困難ではNsが行動する視点、患者の状態をみての判断、日常おこりえる症例で対応する順番、予測しての準備、関わり方が大切だと感じた。
- ・資料が充実していてわかりやすかった(AM)、鎮痛コントロールの理解や輸血の理解が大変深まりました。血圧や血糖コントロールが年齢や個人に合った正常を認識することが大切だとわかりました。
- ・周術期の管理は麻酔科医師がいるからと、安心しがちですが、管理の本質を知ると外回り看護の重要性が改めて認識される場所があります。私は、Op室に行く前の10年は救急でいろいろ勉強させていただき、今Op室に10年います。Opは「人工的に外傷を造っている」と考えており急性期の評価を今に生かしていますが、麻酔管理からも知識を得て評価に加えていくことにより、より管理や評価がやりやすくなりました。低体温に対する対応に対しては私自身新たな知識であったので復習しておきたいと思いました。

不満足

- ・テーマが「周術期における全身管理」なので呼吸・循環管理に関する内容と思っていました。予想していたよりも各論的だったので、麻酔科がどのような計画でどこにポイントを置いて術中管理を行っているのかが講義いただけたら・・・と思います。
- ・教科書を読めばすぐに分かる程度の内容ばかりで残念だった。根拠となる文献・論文等をもっと提示してほしい。

7. 今後のセミナー希望

- ・不整脈など心電図モニターに関するセミナー
- ・急変時の対応をシュミレーション方式で行うような研修など。
- ・体内遺残(カウント方法、カウント用紙等の運用方法) 手術室からの家族への看護アプローチ
- ・他職種協同やチーム医療の動向について
- ・手術室の倫理セミナー
- ・手術中に実際に起こったインシデントやアクシデントを元に学べるようなセミナー、実際に小さなインシデントやアクシデントは病院内でもあるが、表沙汰になることがないこともあり、他の施設ではどうなのか知りたい。
- ・手術室の災害対策について
- ・他職種ではどのような人材育成をしているのか、若いスタッフの育成方法(例えば難しい手術の手技の習得、育成方法) ディスカッションではない方法で知りたい。

8. セミナー企画運営についての意見・感想

- ・スライドを無断で撮影。パソコン・タブレット等電子機器の使用なども、他人に迷惑になりますし倫理上問題となると思います。電源を切るべきです。
- ・もっと参加人数を増やしてほしいです。
- ・近畿地区のようにセミナーを数を増やしてほしい、(セミナー数多く、様々な地区で開催されている)